

令和 7 年度（2025 年度）皇學館中学校の教育目標

<建学の精神> 建学の精神：神宮祭主 賀陽宮邦憲王殿下令旨（明治 33 年 2 月 18 日） 学校目標：清明正直な人格と豊かで高潔な日本人の精神を備えた国際人の育成 清明正直「清らかで明るく正しく直き心」		
<目指す学校像> 日本人として正しい学問に親しみ、高い教養を培うとともに、豊かな感性と品格を備え、グローバルな視野をもって、我が国及び国際社会の発展に貢献する人を育成する。		
<重点目標> 本校の生徒は ○ 清明正直で、互いに尊重する心と豊かな人間性、道徳性を備えている ○ 自己の実現を図るため、自ら考え、行動している ○ 確かな知識・技能を習得し、それを活用する力と主体的に学ぶ力を養っている ○ 安全安心な気持ちのよい学校生活を享受している		
<重点目標推進に係る基本的な考え方と行動計画(中長期的な計画・取組も含む)> ○ 急激に進展する少子化への対応を図る観点から、すべての教育活動を生徒募集につなげる視点で取り組む。特に本校の訓育指導に係る伝統を基盤としつつ、新たな社会づくりに必要不可欠な DX 人材の育成に係る取組、探究活動を基軸とした地域創生につながる取組、その基礎となる志を高める教育活動の推進等、本校の学びを新たな社会づくりにおいて発揮できる力の育成につなげる取組を推進し、他の公私立との差別化を図る。〔経営視点の共有〕 ○ 上記〔経営視点の共有〕の記載内容とともに、現在取り組んでいるさまざまな教育活動について質的向上を図る取組を継続し、生徒の学校満足度及び保護者の信頼度の向上につなげる。〔凡事徹底・質的向上〕 ○ 高等学校においては、高等学校学習指導要領の完全実施の年度を迎えた。中学校では既に完全実施しており、さらなる質的向上が望まれる。このことから、学習指導要領の適切な運用を図る。また、適切な運用を図ることができるよう、柔軟に教育課程の見直しを行う。〔検証と改善〕 ○ 生徒対応・保護者対応の現状を踏まえ、指導の在り方に係る教員一人ひとりの指導力の一層の向上が求められている。また、チーム体制での対応の必要性が一層高まっており、さらには不登校傾向にある生徒の増加に係る国の弾力的な制度運用等への対応が必要となるなか、経営の観点を踏まえた円滑な校務運営の推進に資する取組を図る。また、危機管理に係る体制づくりを進めて行く。〔不易流行〕		

各部・各学年・教科	目標	評価
総務部	① 学校運営を効率的・組織的に進めるための情報共有を行う ② 校内研修等を通じ危機管理意識や判断の向上を図る。また、避難訓練・防災訓練を年 2 回実施し、災害から自らの生命を守るため主体的に行動する力を育成する。 ③ 保護者総会や保護者懇談会を実施し、保護者との連携を深める。 ④ 国際交流等を通して、グローバルな視点からの生徒の社会性を育てる。	

教務部 (情報を含む)	① 学習指導要領の趣旨を常に顧みながら、確かな知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成に重点を置き、一人ひとりに適した学びを意識した教育実践に取り組む。 ② 国際的な視野と豊かな感覚を備え、我が国及び国際社会の発展に貢献する人材の育成を図る。 ③ 高校・大学と連携し、幅広い多角的な教育の推進を図る。 ④ 互見授業を推進し、研修会で意見交換を行い、教員の授業力向上を図り、より深い学びにつなげる個別最適化な授業実践の方法について研究する。 ⑤ キャリア教育を充実させ、自己の適性について考え、自己実現できる資質・能力を育成する。 ⑥ 各部署との業務連携を円滑に進め、各種研修等を通して教育目標を共有し、学びの環境を充実させて中高一貫校としての総合的な教育力を高める。 ⑦ 学校情報を適切に発信し、保護者や地域との相互理解を深め、連携した教育活動を強化する。 ⑧ 保有する情報を適切に管理し、教員間での情報の共有化を進め、利便性を高める。	
訓育部	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性を養う。 ② ルールの遵守、マナーの向上を目指し、基本的な生活習慣を確立させる。 ③ 部活動、校友会活動等を通して生徒の自主的な活動を促進し、予防的安全教育を通して、心身の健康・安全に留意する態度や意欲を養う。	
入試広報部	① 本校の掲げる教育理念を広く紹介し、周辺地域より信頼される学校づくりをめざし、その推進に努める。 ② 生徒の発信力やＩＣＴ活用、英語教育など、本校の特色ある教育について、オープンスクールや説明会、私学フェア等で多くの児童・保護者に発信していく。手段についてはＨＰやチラシに加えＳＮＳなど新たな媒体を活用していく。 ③ 本校の進学実績に寄与しうる能力を備えた生徒の入学に尽力する。 ④ 皇學館高校・大学との連携を強化し、法人全体として入学生の安定した確保に取り組む。	
保健部	① 生徒が健全な心身の発育や発達するための知識を身につけられる健康教育を行う。 ② 生徒が健康な生活を送るために疾病や感染症についての予防教育をするとともに健康観察を行う。 ③ 生徒の生活の様子に変化を感じた場合は教員間での情報共有を密にし、生徒をしっかりと見守り、心の変化を見逃さないようにする。 ④ 生徒が安全な学校生活を送れるように環境を整備する。また、自分の身の回りの安全を確保するための危機管理教育を行う。 ⑤ 生徒に必要な情報を保健だより等で発信する。	

教育相談・ 人権教育部	① 全ての生徒にとって安心・安全で快適な学校であるように、教育環境を整え、「いじめ防止基本方針」の見直しを図る。 ② 「人権に関するアンケート」や「いじめに関するアンケート」を実施し、生徒の学校生活の現状把握に努め、人権意識の向上を図る。 ③ 生徒の人権意識を高めて、いじめを許さない態度を育む。 ④ 人権学習を通して意見や考えを仲間に伝えることができるようにする。 ⑤ 教員の人権意識向上のため研修会への参加を促し、より高い人権意識が持てるようにする。 ⑥ 生徒・保護者・教員に対する講演会や研修会を企画し、人権に関する意識や理解が深まる働きかけを行う。	
第1学年	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣の身に付いた清明正直な人格を育成する。 ② キャリア教育を通して社会における将来の自分像を見つめる態度を育み、国際社会で活躍できる人材を育成する。 ③ 学習や学校行事等において、強い意志を持って物事に主体的に取り組む姿勢を育む。 ④ 道徳や日常の指導を通して高い人権感覚を養い、互いに認め合い高め合う集団を育成する。 ⑤ 基本的な学習習慣を養い、豊かな知性、確かな学力の向上に努める。	
第2学年	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣の身に付いた清明正直な人格を育成する。 ② キャリア教育を通して社会における将来の自分像を見つめる態度を育み、国際社会で活躍できる人材を育成する。 ③ 学習や学校行事等において、強い意志を持って物事に主体的に取り組む姿勢を育む。 ④ 道徳や日常の指導を通して高い人権感覚を養い、互いに認め合い高め合う集団を育成する。 ⑤ 基本的な学習習慣を養い、豊かな知性、確かな学力の向上に努める。	
第3学年	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣の身に付いた清明正直な人格を育成する。 ② キャリア教育を通して社会における将来の自分像を見つめる態度を育み、国際社会で活躍できる人材を育成する。 ③ 学習や学校行事等において、強い意志を持って物事に主体的に取り組む姿勢を育む。 ④ 道徳や日常の指導を通して高い人権感覚を養い、互いに認め合い高め合う集団を育成する。 ⑤ 基本的な学習習慣を養い、豊かな知性、確かな学力の向上に努める。	
国語科	① 国語の特質を理解し、日常生活において国語を適切に使用できる力を育てる。 ② 日常生活における周囲との関わりを通して伝え合う力を高め、語彙力や思考力を培う。 ③ 我が国の言語文化に対する関心を持つとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上に努めようとする態度を養う。	

社会科	① これまでの手法を活用しながらも、新たな指導方法について研究を進め、授業力を向上する。 ② 確かな知識と技能の習得、思考力・表現力・判断力の育成に重点を置き、生徒一人ひとりが主体的に学ぶ風土を醸成する。 ③ 研究授業・互見授業を実施し、授業方法や ICT 利活用の方法などの改善を図る。 ④ 外部研修への参加や中大連携授業の実施、高等学校教員との連携など内外とのつながりの中で視野を広げ、時勢を捉えた学習指導を実践する。	
数学科	① 主体的、対話的で深い学びを実現すべく、グループワークを効果的に実施し、多様な視点でとらえる力やコミュニケーション能力を育成する。 ② 確かな知識・技能の習得のために、習熟度に応じた授業を展開する。日々の課題や小テストで基礎学力の定着を図る。また思考力や課題解決能力を育成するために長期休暇を利用して、全校生徒を対象に数学自由研究に取り組む。 ③ 教員の実践力向上のために、ICT利活用や発展的な授業等では、相互参観を実施し教員の実践力を向上させる。	
理科	① 身近な自然現象に対して、興味・関心を持てるような態度を育てる。 ② 自然現象に対しての基本的な考え方や原理・法則についての理解を深めさせる。 ③ 安全な実験・観察に協力して取り組み、発表等を通して発信力の向上を図る。 ④ 科学的知識の定着を図る。 ⑤ 地球環境について、環境保護の観点を持てるような態度を育てる。	
英語科	① コミュニケーション活動やオンライン英会話等を活用して四技能をバランスよく育成し、実践的コミュニケーション能力を向上させる。 ② 他国とのオンライン交流や国際理解プログラム等を通して様々な国の文化や社会に対する理解を深め、国際的な視野を広げる。 ③ 教員及びオンラインプログラムによる対策を活用し、英語検定など資格取得に積極的に取り組む。 ④ 研究授業・互見授業を実施し、授業方法や ICT 利活用の方法などの改善を図り、授業力向上につなげる。	
保健体育科	① 体育では体と心の成長をうながし、体力を高め、基礎的な技能を習得し、スポーツに親しむ習慣を身につけさせる。 ② 生涯にわたる豊かな運動習慣を実現するためにも、スポーツを楽しむ工夫や能力を育成する。 ③ 保健では生涯を通じて健康を管理するためにも運動習慣や、生活習慣、社会の取り組みについて理解し、積極的に活用する力を育成する。 ④ 安全管理を徹底し、授業方法の改善や ICT の活用を進め、授業力の向上に努める。	

音楽科	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を行い、主体的に学ぶ力を養う。 ② 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。 ③ 生徒間で意見を交換・共有させ、音楽に対する意見を伝え合う力を高める。	
美術科	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせた学習活動を行い、主体的に学ぶ力を養う。 ② 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。 ③ 日本の美術が西洋の美術の発展に深く関わりがあることなど、美術を通じた国際理解を図る。 ④ 生徒が感じ取ったことや考えたことなどを基に作品で表現する活動を行わせ、それらを生徒間で伝え合う力を高める。	
技術・家庭科	① 生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して製作、調理等の実習、観察・実験などの実践的・体験的な活動を行い、主体的に学ぶ力を養う。 ② よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。 ③ 情報を適切に活用するとともに、情報社会に参画する態度を養う。 ④ 生徒間で意見を交換・共有させ、一人ひとりのよさや個性を生かしながら、生活の自立につながるような活動をさせる。	
特別活動	① 学級活動や学校行事など様々な集団活動に自主的、実践的に取り組みせ、互いによさや可能性を発揮させながら、集団や自己の生活上の課題を解決する力を育成する。 ② 主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICTの利活用方法や授業の工夫改善を行い、集団活動や実践的な活動に主体的に取り組む力を養う。	
総合的な学習の時間	① 教科等横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 ② 宿泊行事や体験活動等で神社参拝の機会を作り、日常生活において神社を参拝するなどの行動に結びつく取組を進め、本学の建学の精神の核となる神道を位置づけた取り組みについての探究をより深める。	
特別の教科 道徳	① 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ② 教育活動全体を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成し、生徒が主体的に道徳性を養う。	